

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	国立大学法人施設整備(大型特別機械整備費等(最先端等))			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	平成16年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大学研究基盤整備課		大学研究基盤整備課長 黒沼 一郎 国立大学法人支援課長 堀野 晶三
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国立大学法人法(平成15年法律第112号)第35号において準用する独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定)		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-04.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	国立大学法人及び大学共同利用機関法人が行う最先端の大規模研究プロジェクトに供する大型特別機械等の整備及び大学共同利用機関法人が行う施設・設備の整備に要する経費に対して補助を行い、もって大学の教育研究に対する国民の要請に応えるとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	国立大学法人等において、先端的・独創的な研究に必要不可欠な研究設備のうち、既存の経費(国立大学法人運営費交付金等)や競争的資金では整備が不可能なものが存在し、その設備整備の充実がなされないことによって、高等教育及び学術研究の水準が低下する。						
事業概要 (5行程度以内)	国立大学法人等において、先端的・独創的な研究に必要不可欠な研究設備のうち、既存の経費(国立大学法人運営費交付金等)や競争的資金では整備が不可能なものについて、国立大学法人等が策定する設備整備のための中長期的計画(設備マスタープラン)を踏まえた上で、国立大学法人等に対し必要な経費を補助する。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	国立大学法人等が実施する研究設備の整備について、当該経費の一部を補助【定額補助】						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	2,808	2,611	2,611.2	2,611.2	-
		補正予算(B)	8,303	10,119	8,090.9	7,744.9	
		令和5年度第1次補正予算				7,744.9	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	7,717	13,026	12,269	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 13,026	▲ 12,269	▲ 11,725	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	5,802	13,487	11,246.1	10,356.1	-	
	執行額(G)		5,802	13,487	11,246		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		52%	106%	105%		
	令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)	
(項)			国立大学法人施設整備費		※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 重要政策推進枠 5,111百万円		
		(目)	国立大学法人先端研究等施設整備費補助金	2,611			
			その他	-			
計(A)		2,611.2	-				

活動内容① (アクティビティ)		国立大学法人及び大学共同利用機関法人が行う最先端の大規模研究プロジェクトに供する大型特別機械等の整備及び大学共同利用機関法人が行う施設・設備の整備に要する経費に対して補助を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		最先端の大規模研究プロジェクトに供する大型特別機械等の整備等に要する経費に対しての補助の実施	研究設備の整備に係る予算執行件数	活動実績	件	10	14	9	7	-	
				当初見込み	件	13	10	12	11	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	研究設備の整備に係る予算執行がなされることで、研究設備が整備される。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		研究設備の整備に係る予算執行に伴う研究設備整備の進行	研究設備の整備計画を踏まえた整備件数	成果実績	件	4	3	2	-		
				目標値	件	8	10	14	-		
				達成度	%	50	30	14.3	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	一定の規模を要する最先端の研究設備の整備計画を踏まえた研究設備整備が進行することで、国立大学法人等において、先端的・独創的な研究に必要な不可欠な研究設備の安定的・計画的な整備が図られる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		我が国の国際的なプレゼンス及び学術研究の研究水準の向上	産業界等との連携による最先端の技術開発等を実現した装置の稼働	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		整備計画を踏まえた装置開発・機能向上等が行われ研究プロジェクトの中で稼働しているかを関連の大型学術研究プロジェクトの評価等の中で確認した。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		一定の規模を要する最先端の研究設備は、年次計画に基づいた中長期的な国際的大型プロジェクトの進展に寄与するものであり、結果として国際的なプレゼンス及び学術研究の研究水準の向上に資する。これらは成果創出までに時間を要し、また、一義的な指標によって測定できるものではないため、定性的な指標を設定している。									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
		-									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
11,246百万円

対象となる国立大学法人等から提案のあった事業内容を審査
の上、支援対象となる設備を選定し、補助金を交付する。



【補助金等交付】

A. 国立大学法人施設整備事業
11,246百万円
国立大学法人等
全6法人

国立大学法人等における先端的・大型の研究設備の整備。

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
設備費	ハイパーカミオカンデ(HK)計画の推進	4,333			
計		4,333	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

